

公開研究

日本伝統音楽研究センター

プロジェクト研究「音曲面を中心とする能の演出の進化・多様化」

伝統音楽における記譜について —声明と謡を中心に

2016年2月17日(水) 13:00-17:00

場所：日本伝統音楽研究センター合同研究室1（新研究棟7階）

講師：藤田隆則（日本伝統音楽研究センター専任研究員）

定員：20名程度（申込不要）

共催：芸術資源研究センター 重点研究「記譜プロジェクト」

この講座では、日本の伝統音楽の記譜を、総合的にとらえるための理論的枠組みを紹介した上で、声明と謡曲の記譜を、実際の音響と照らし合わせながら、解説していきます。解説をつうじて、伝統音楽の記譜の豊かな世界を実感してみませんか。

- 1、伝統音楽の記譜概論—音のみぶりを伝える楽譜を中心に
- 2、声明の記譜のいろいろ—《如来唄》を比較する
- 3、謡の記譜のいろいろ—五流を比較する

同時開催 展観：日本伝統音楽にみる記譜のひろがり

2016年2月上旬～4月下旬 場所：日本伝統音楽研究センター合同研究室前展観スペース（京都市立芸術大学新研究棟7階）

内容：伝統音楽の記譜を、理論的な分類にもとづいて展示します。記譜法と鳴り響く音楽そのものが、互いに離れたものではなく、連続しており、並行しており、重層的な関係にあることを、楽譜、理論書、楽器、再生装置などの展観をつうじてしめします。



芸術研
GEISHIKEN

問い合わせ先：芸術資源研究センター事務局 tel:075-334-2217 mail:arc@kcus.ac.jp

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts - founded in 1880